

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)乙第 16 号	氏名	橋本 敏章
学位審査委員	主 査	由井 克之	
	副 査	上平 憲	
	副 査	宮崎 泰司	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 肝移植において、レシピエント組織に遊走したドナー由来抗原提示細胞の免疫寛容誘導における役割を解明しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 ラット肝移植自然生着モデルを用い、レシピエントの脾臓から回収したドナー由来細胞について様々な免疫学的手法を用いて解析を行っており、妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、移植肝に対する免疫寛容成立にも関わらず、レシピエント側に遊走したドナー細胞が強い免疫原性を有することが明らかになった。移植肝の自然生着における制御性 T 細胞の関与を示唆する結果であり、今後の移植免疫学研究への進展が期待される。</p> <p>以上のように本論文は移植免疫学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			